

総評

今期、建設業は資材価格の高騰や専門人材の不足感はあるものの公共工事の請負額は底堅く推移した。新設住宅着工件数は前年をやや下回っており、引き合いも低調であった。製造業では、食品等の一部で好調な業種も見られたが、農業機械や一般機械関連は需要の減退で低迷が続いている。卸売業・小売業は、飲食料品や日用品の引き合いが減少して悪化した。サービス業は、個人消費が低調だったことに加え、オフシーズンに寒波も重なり宿泊業や飲食店が不調となった。長引く物価高に伴う消費マインドの低迷、燃油価格の上昇に伴うコスト負担増、深刻な人手不足など長期的課題の山積が続いている中、寒波が断続的に続いた影響もあり、業況は低迷した。

来期は、2025年秋放送開始予定の朝ドラ「ばけげん」にちなんだ商品開発意欲の高まりもあり、観光需要の回復に期待感が見られる。前述の長期的な課題解決を目指して新年度となったことを契機に価格転嫁や省力化、デジタル化への取り組みもより一層求められる。また米国の相互関税の発動に伴う影響も懸念され、先行き不透明感も相まって需要の減退を招くことを懸念。

		前期状況 (10～12月期)	今期状況 (1～3月期)	来期見通し (4～6月期)	調査事業所のコメント
建設業	建設業	➡	➡	➡	今期は、エネルギー価格や原材料費の高騰、人手不足等により、事業者を取り巻く外部環境は依然として厳しい状況であるものの、2月の公共工事の請負額は昨年同期比で約10%増加するなど堅調に推移。民間の住宅着工件数は前年をやや下回って推移しており、一部引き合いも低調であった。 来期は、開散期を迎えることに加え、4月に迫る建築基準法改正により省エネ基準への適合が義務化されるなど先行きは不透明感は拭えない。
	製造業	➡	➡	➡	今期は、農業機械分野では、国内外で需要が減退しており、生産台数を調整している。その他機械についても弱い動きがみられた。需要の停滞が続く中で、原材料価格の高騰、人件費の増加、金利負担等による経営の圧迫が続くものの、積極的な営業活動や商談会への参加により販路拡大を効果的に進めている事業所も一部でみられた。 来期は、補助金メニュー等を活用した社内改革や販路開拓に向けた動きに期待する一方で、米国の相互関税の動向を懸念。
	卸売業	➡	➡	➡	今期は、急激な気温低下で客足が減少した小売業・サービス業からの引き合い減少に加え、補助金縮小に伴う輸送費の上昇等でコスト負担が増加し、悪化した。 来期は、仕入価格の上昇が止まる気配がなく、卸売価格も上げざるを得ない状況となっていることから、必然的に取引先の販売価格も高くなるため、最終消費者の購買意欲が下がっており、実質賃金が多少プラスになっても、消費マインドは低いままで、取引量は減少することが見込まれる。
小売業	衣料品	➡	➡	➡	今期は、引き続き物価の上昇が続き、消費者ムードは停滞するとともに、降雪の影響もあり、客足が鈍く春物衣料が動かず、売上減少となった。 来期は、春夏物の動きが良くなることが期待されるものの、顧客ニーズに対応した仕入がいかに行けるかが課題。メーカーからの直接買い付けは生産ロットが小さく、計画的な発注と在庫管理による利益確保が求められている。また、顧客の高齢化も進んでおり、若年層を取り込んでいくことで売上確保を目指している。
	家電	➡	➡	➡	今期は、気温の低下により主力のエアコンなど暖房器具は一定の動きがあった。一方、物価高が影響し、給湯器や住設関係は値上げが続いている。 来期は、新年度シーズンの新規・買替ニーズや事業者向けの補助金による設備更新意欲の高まりに期待したい。
	自動車	➡	➡	➡	今期は、半導体不足や部品納品の遅れによる納期遅延の傾向が依然続いているものの、一部では短縮傾向もみられはじめている。受注状況は依然好調で、供給力の回復に伴い登録や届け出台数が増加しており、新車販売台数では総じて前年同期比増加。 来期も依然として半導体不足や部品の納品遅れの影響が続くものと思われるが、環境に配慮した低燃費車への買い替え需要に期待。
	スーパー	➡	➡	➡	今期初めは、野菜や果物などの生鮮食品を中心に、前期を上回る価格高騰となった。期末ごろには春野菜へ旬が移り、価格も例年並みの水準となった。 来季は、原材料の調達コストの増加に加えて、人件費や物流費の上昇などを値上げの理由に、4月に調味料、酒類・飲料、加工食品など4,000品目を超える値上げが見込まれている。
	特産品	➡	➡	➡	今期は、強い寒波が長期間続き観光客数が低迷したことで、土産品・特産品需要は低迷。物産販売施設がリニューアルオープンのため2月末から閉店になったことも影響した。 来期は、観光需要等の回復に期待するとともに、物産販売施設がリニューアルオープンし、集客に寄与することを期待。また2025年秋放送開始予定の朝ドラ「ばけげん」にちなんだ商品開発意欲の高まりに期待。
	飲食	➡	➡	➡	今期は、新年会、送別会需要などが下支えしているものの開散期に寒気も長引いた影響で需要が低迷した。2次会向けの業態は引き続き苦戦が続いている。また永年市民から愛されて続けてきた飲食店の閉店も散見された。原材料の高騰や人件費の増加という課題を抱えながらも、人気店となるように模索している店舗も見受けられた。 来期は、歓迎会や観光等の需要回復に期待する一方で、選挙なども重なり宴会需要の低迷を懸念。
サービス業	旅館・ホテル	➡	➡	➡	今期は、寒気の影響で降雪日が多くなり、宿泊客数が減少した。加えて、物価高騰、金利上昇、人件費増加などコストアップが重なり業況は悪化した。 来期は、松江城天守国宝指定10周年記念事業や2025年秋放映が始まるNHK連続テレビ小説「ばけげん」など好材料が多いため、新メニュー、新サービス、旅行商品作成などに期待。
	運輸・旅客	➡	➡	➡	今期の旅客運送業では、雪による影響が少なく団体需要も獲得した。乗務員の採用が計画通り出来た事業所では、増収に繋がっている。全般的に積荷の出荷量が増える兆しが見えず、3月の引越についても分散の傾向が見受けられた。引き続き燃油費・人件費等の高騰など業界を取り巻く環境は益々厳しさを増している。 来期は、出荷状況の不透明感や米国の関税等による物流の停滞が懸念される。旅客運送業では、歓迎会シーズン・大型連休があり需要の増加が期待できる。

売上の前年同期比について ➡ ➡ ➡ により表しています。